

# 経済統計 練習問題

## 第11回 家計に関する統計(2)

2006年10月31日

問 以下の文章を完成させよ。

家計調査のデータを用いて、

$$Y(\text{消費}) = a + bX(\text{所得})$$

というケインズ型消費関数を推定することができる。この消費関数は {(a) 消費 (b) 所得} を原因、{(a) 消費 (b) 所得} を結果とする因果関係を数式で表したものであり、係数  $b$  は  といわれる。

消費支出の各費目を、必需品かぜいたく品かに分類する際には、エンゲル関数を用いられる。

$$E(\text{各費目の支出}) = a + bC(\text{消費支出})$$

という関数を用いて分析したときに、正常財であれば {(a)  $b > 0$  (b)  $b < 0$ } となる。また  $a > 0$  であれば、その費目は {(a) 必需品 (b) ぜいたく品} であり、 $a < 0$  であれば、その費目は {(a) 必需品 (b) ぜいたく品} と分類することができる。